



 **和弘食品株式会社**

札幌IR(個人投資家向け会社説明会)資料

2023年2月21日  
証券コード 2813

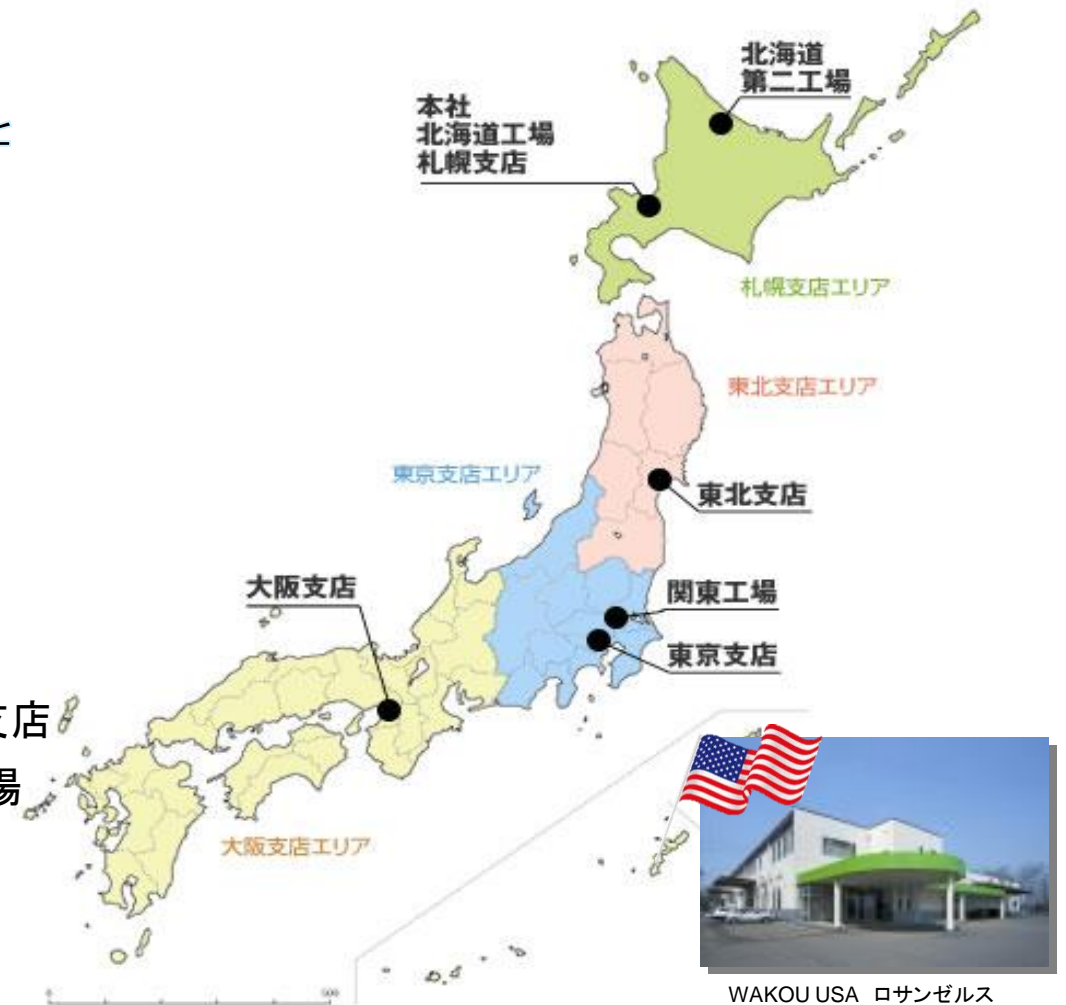


当社は、北海道の恵みと共に、**スープ・タレ・天然エキス**を作り出す業務用調味料の専門メーカーです。

## 「本物志向」・「天然志向」・「健康志向」

を基本に少量多品種短納期生産に磨きを掛け、高付加価値の商品作りとお客様満足度の向上に努めてまいります。

- 社名 和弘食品株式会社
- 本社 北海道小樽市銭函3丁目504番地1
- 代表者 代表取締役社長CEO 加世田 十七七
- 創業 1964年3月30日
- 営業種目 各種スープの製造・販売 各種天然エキスの製造・販売
- 社員数 267名(2022年3月末日現在)
- 拠点 国内営業4ヶ所 札幌支店、東北支店、東京支店、大阪支店  
国内工場3ヶ所 北海道工場、北海道第二工場、関東工場  
国外工場1ヶ所 米カリフォルニア州ロサンゼルス
- 上場市場 東京証券取引所 スタンダード市場  
札幌証券取引所 本則市場



## ➤ 企業信条

誠実「真心から発する至誠には感動させられぬ者はない」

## ➤ 経営理念

- ・和弘食品株式会社は誠実な企業活動を通じて社会に貢献する。
- ・和弘食品株式会社は常にお客様の満足度の向上を目指し風通しの良い社風の醸成を図るとともに絶え間なく業務の改革・改善に努める。
- ・和弘食品株式会社は食文化の創造と発展を通じて企業価値を創造し、着実に利潤を追求して取引先・社員・株主の相互繁栄を図る。

## ➤ ビジョン

業務用調味料メーカーとして商品開発・生産技術・品質保証体制で他社の追随を許さないプロのためのプロ企業として強固な財務体質と高収益を誇る小粒だが光り輝く高付加価値企業となる。



 **和弘食品の三つの誠実**





## ラーメン食堂創業

和弘食品のルーツ。ラーメン食堂として小樽に福来軒をオープン。その後小樽に2店舗、札幌すすきのに1店舗を出店。計4店舗となり小樽の圧倒的な一番店へと成長しました。



独自技術天然エキスの開発  
天然エキス抽出技術を独自開発し、北海道岩見沢市大和に岩見沢工場を新設し、天然エキスの製造・販売を開始。



不動の人気札幌ラーメンスープメーカーへの歩み  
生麺の製造・販売から撤退し、本格的なスープ専門メーカーに転換いたしました。(写真は創業社長直筆の処方集)



店頭市場へ株式を公開  
(現: 東証スタンダード市場)



FSSC22000 認証取得  
(北海道工場)

2019年  
FSSC22000 認証取得  
(関東工場)

1956  
年  
創業

1964  
年

1967  
年

1976  
年

1981  
年

1989  
年

2012  
年

2015  
年

2018  
年

2022  
年

現在

米国カリフォルニア州に現地法人立ち上げ



## 和弘食品の設立

北海道小樽市において生麺の製造販売、並びに各種スープの製造販売を目的として、和弘食品は設立されました。



多品種小ロット生産体制の確立  
顧客のニーズに合った味の迅速な開発体制及び多品種小ロット生産を確立強化するため本社社屋及び小樽工場を北海道小樽市新光4丁目12番1号に新築・移転。



## WAKOU USA INC. 工場稼働開始

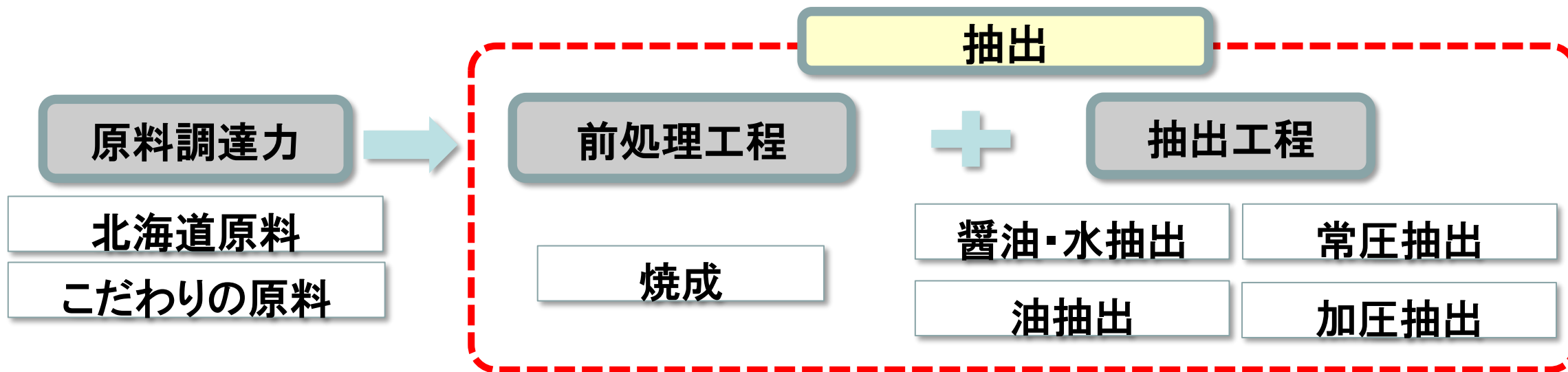
更なる業容拡大と成長を目指すべく、米国カリフォルニア州の現地法人に工場を設置し、現地でのOEM対応を開始。



## 札幌証券取引所へ上場

北海道企業として更なる地域貢献を図るべく札幌証券取引所本則市場へ上場。

こだわりの原料を使用して、プロセスにもこだわり、大手には真似できない付加価値のある製品を製造しております。



焼成機

焼骨(畜肉、海鮮)、焼き野菜



炊き出し釜

本格ガラスープ、ブイヨン、和風だし製造



直火釜

本格シーズニングオイル製造



## 業務用

(当社ブランド品 例)



十勝豚丼のたれ



北海道ザンギのたれ



濃厚味噌ラーメンスープ



パワフルガーリックのたれ



天丼のたれ

## 別添用

(当社ブランド品 例)



醍醐味みそラーメンスープ



ごま冷し中華スープ



冷麺スープ



液体焼きそばスープ

## 天然エキス

(当社ブランド品 例)



ホタテエキス



利尻コンブエキス



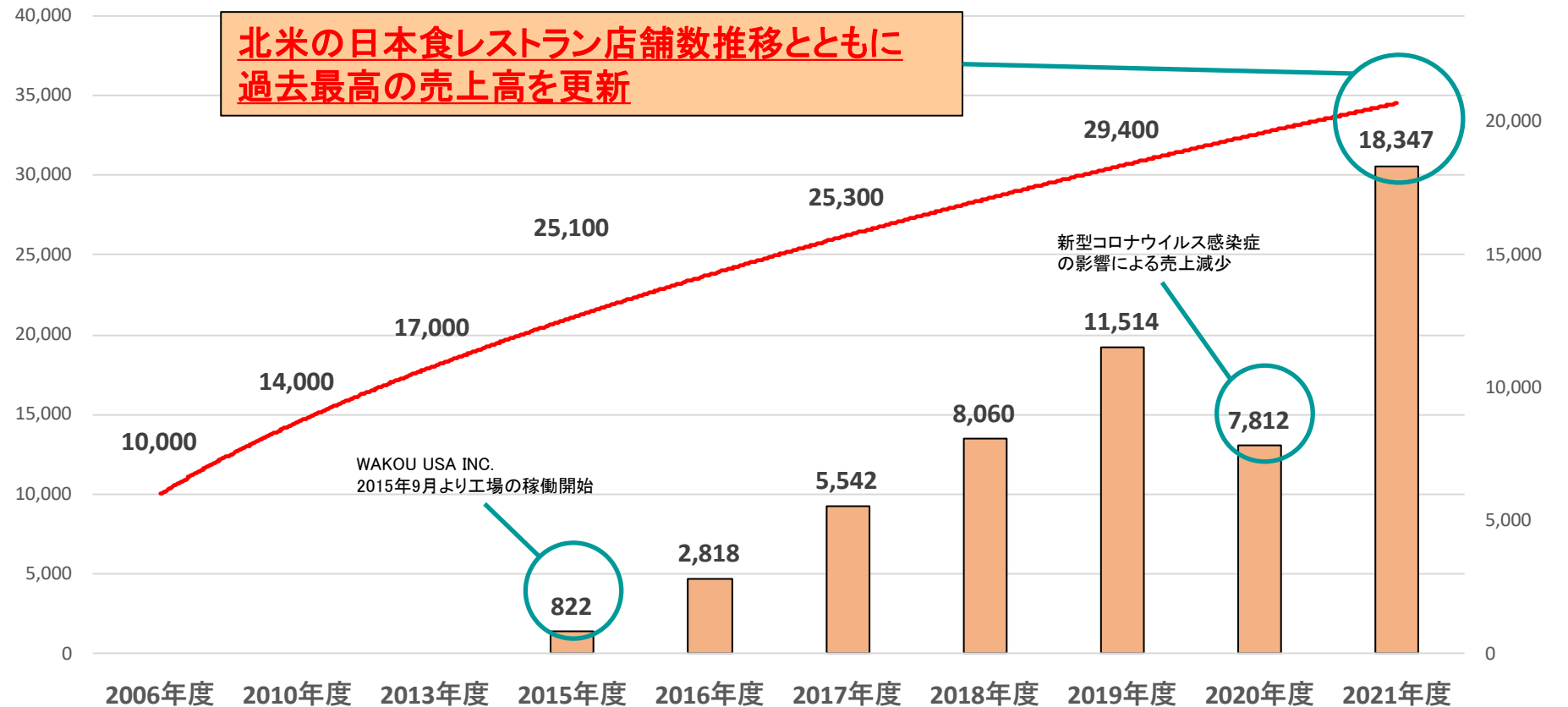
カニエキス



- ・北米で大人気の「豚骨系」スープの売れ行きが好調に推移
- ・味噌系やスパイシー系の需要も増加中

## 日本食レストラン店舗数と売上高の推移

■ 米国セグメント売上金額    — 日本食レストラン店舗数推移



(NB製品を使用したサンプル品画像)



Tonkotsu Ramen Soup Base  
(豚骨スープ)

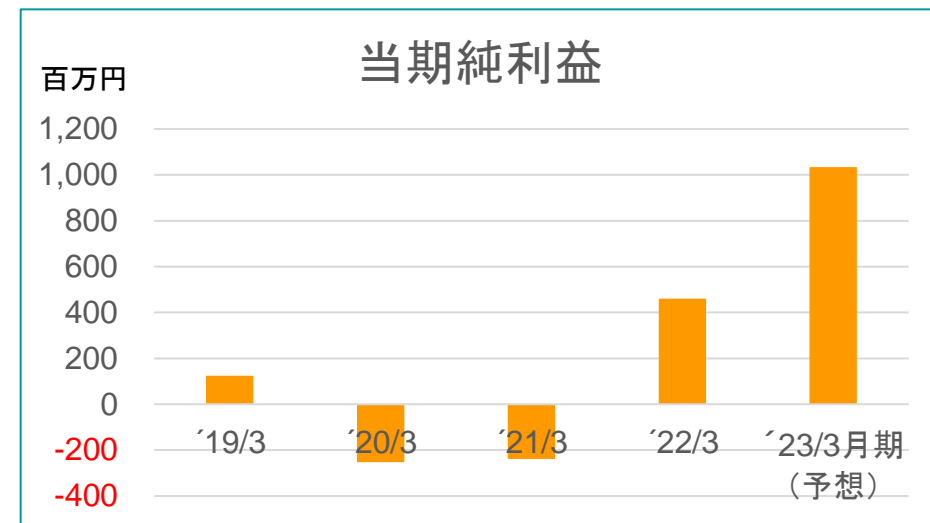
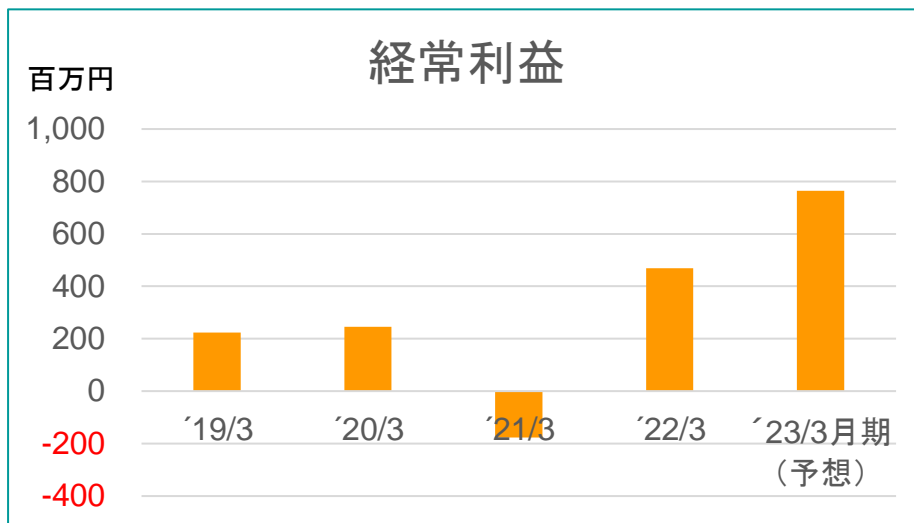
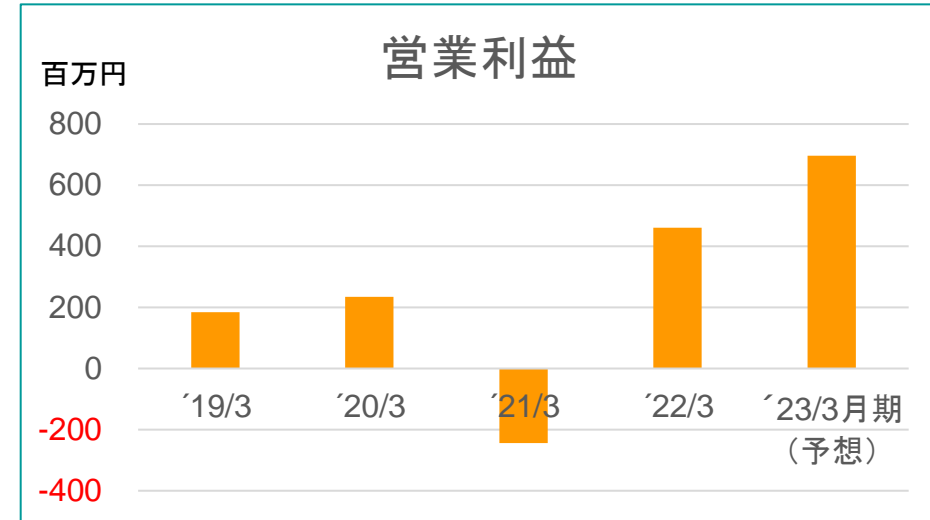
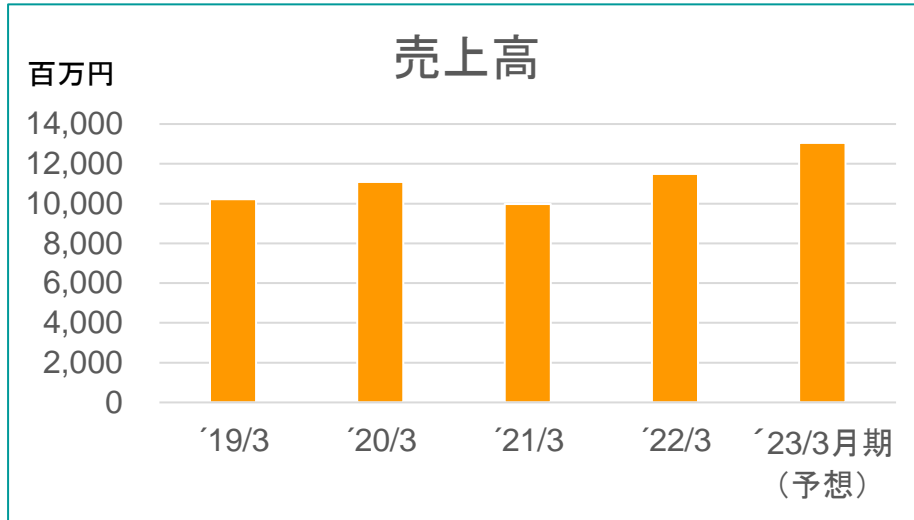


Tokyo Miso Ramen Base  
(味噌スープ)



Spicy Miso Ramen Base  
(スパイシー味噌スープ)

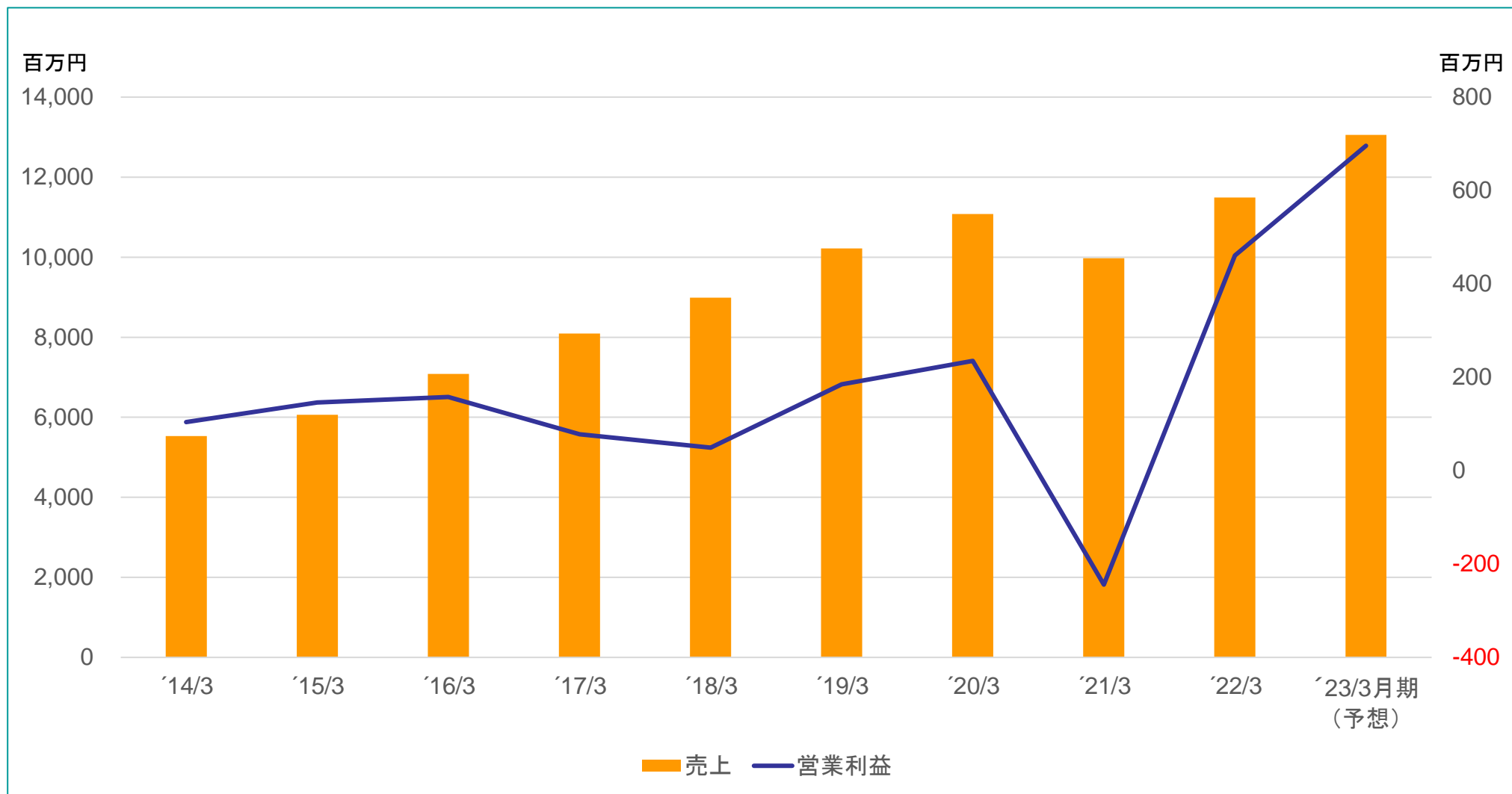
売上高については安定して推移しているものの、人件費や原材料費等の製造コストの増加に伴い、利益水準は低調低調気味だったが、米国の業績好調により改善。





# 通期業績推移(過去10年推移)

売上高については右肩上がりで上昇しているものの、人件費や原材料費等の製造コストの増加に伴い、利益水準は低調気味だったが、米国の業績好調により改善。



## ➤ 当社を取り巻く経営環境

新型コロナ禍による消費者の行動および意識の大きな変化に加え、世界的規模でのサービスコストやサプライチェーンコストの上昇によって、今後も厳しい状況が続くものと予想されます。

また今日、自然環境が気候変動や環境汚染により深刻な問題を抱えており、特に廃棄物処理については生態系を含めた海洋環境の悪化などを引き起こし、大きな地球環境問題となっていることから循環型社会への対応が急務となっております。

国内は人口減少により市場が縮小傾向。一方で、グローバルなラーメンブームにより海外市場は拡大が期待。

## ➤ サステナビリティ経営

既にホタテ干貝柱の製造工程から出た煮汁を濃縮する専用工場をオホーツク海沿岸で稼働させ、エキス製品へ活用したり、昆布の端材や甘エビの頭を使ってエキス化するなど、当社はこれまでも北海道の海産物・農産物の恵みを大切にサステナブルな製造を行ってまいりました。

今後更に、自然環境の中で余っている食材、未活用・廃棄していた部位、副産物などを再利用してエキス化したり、スープやだしにする技術を生かしていきます。

SDGsに対応し地球環境に優しい、素材を余すところなく全て使い切る、限られた資源を大切にすることに磨きをかけたサステナブルで付加価値の高い製品を製造していく考えです。

そして、北海道産素材、北海道ブランドに強い「北海道の会社」という立ち位置をもっと鮮明にして当社のブランディングを図っていきます。

## ➤ 北海道への貢献

当社創業の地で主要生産拠点を構える北海道は重要な販売マーケットでもあり、今後更に北海道内での経済活性化に貢献していきます。

東証・札幌上場企業として、道内はもとより全国、そして世界に北海道小樽市の企業としての存在感を高め、地元小樽の経済発展に貢献していきます。

また、人口減少、若者の減少が続く小樽では雇用を継続することで地元還元し、発展のお手伝いをしていきます。

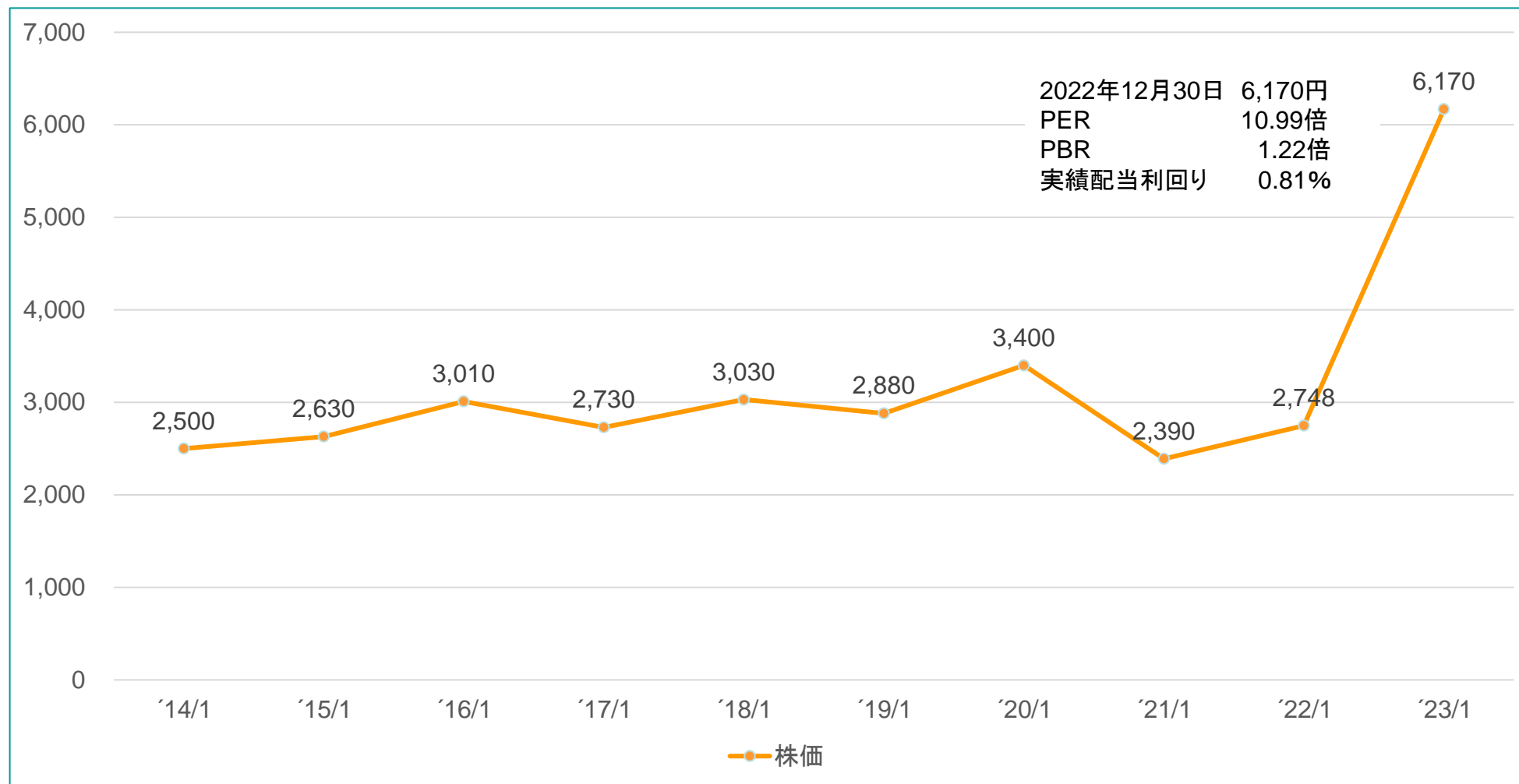
## ➤ ラーメンスープを北海道から世界へ

北海道・小樽銭函を本拠にする当社のラーメンスープが日本全国、米国、そして世界に広がっております。

今後も当社の強み(味づくり・品質・スピード)を活かし、「小樽発のグローバルカンパニー」として、企業のブランド価値を高めていきます。

株価の推移(2014年1月~2022年12月)

➤ 株価は、ここ数年2,000円半ばから3,000円の範囲内で推移していたが、2022年6月から上昇傾向。





## 配当金について

当社は、企業価値の拡大を通じて、株主の皆様へ長期的かつ適正な利益還元を行うことが会社の責務であるとの考えのもと、配当に関しましては、長期発展の基礎となる財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続することを基本方針とし、各期の業績や財務状況等を総合的に勘案して決定しております。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期(予想)
1株当たり配当金	50円	50円	30円	50円	50円

## 株主優待制度について

当社では、株主様への利益還元、サービスの一環として株主優待制度を導入しております。

所有株式数	優待内容
100株以上1,000株未満	2,000円相当の北海道産品の詰め合わせを贈呈いたします。 
1,000株以上	5,000円相当の北海道産品の詰め合わせを贈呈いたします。 



◇本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではないです。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。

◇本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。

◇本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。